NIPRO FreeStyle FREEDOM™

Blood Glucose Monitoring System

ニプロフリースタイル フリーダム

血糖自己測定システム

取扱説明書

製品に関するお問い合わせ先

ニプロ株式会社

やさしい ニプロ
0120-834-226

9:00～17:30（土･日･祝祭日をのぞく）

NIPRO

製造販売　ニプロ株式会社

大阪市北区本庄西3丁目9番3号

【警告】

○実際の血糖値より高い値を示すため、以下の患者には使用しないこと。

- 輸液等を投与中の患者（マルトースを含む輸液を投与中の患者で実際の血糖値より高い値を示すため。1ページ【妨害物質】の項参照）
- イコデキストリンを含む透析液を投与中の患者（1ページ【妨害物質】の項参照）
- ガラクトース負荷試験を実施中の患者（1ページ【妨害物質】の項参照）
- キシロース吸収試験を実施中の患者（1ページ【妨害物質】の項参照）

○医療機関において、輸液を投与中の患者に本機器を使用し、その測定値に基づきインスリンを投与した結果、患者に低血糖症状が生じた事例が報告されていることから、本機器は、原則として患者自身が自宅等で血糖を測定する場合に使用すること。

警告

本品および専用電極（ニプロフリースタイルセンサー）での血糖測定結果により、医師の指示無くインスリン等の投与量または経口剤を変更しないでください。

注意

1. 指先からの採血とそれ以外の部位（前腕、上腕、手、太もも、ふくらはぎ）からの採血を行った場合、測定値に違いが認められる場合があります。特に食後、インスリン注射後、運動後といった急激に血糖値が変動する場合に測定値の違いが認められます。
測定に際しては、採血部位をよくマッサージすることで、採血部位による測定値の相違を少なくしてください。
なお、低血糖症状が現れる方、低血糖が疑われる方は指先からの採血を推奨します。

2. 本品および専用センサー（ニプロフリースタイルセンサー）での測定結果に疑問を感じた場合は、速やかに再測定を行ってください。再測定後も疑問が残る場合は、かかりつけの医療機関にご相談ください。

【妨害物質】

- マルトースを含む輸液剤等を投与した場合など、マルトースを多く含んだ検体を測定した場合（血中濃度20mg／dL以上の場合）、実際の血糖値より高い値を示します。
- ガラクトース負荷試験時など、ガラクトースを多く含んだ検体を測定した場合（血中濃度13mg／dL以上の場合）、実際の血糖値より高い値を示します。
- キシロース吸収試験時には実際の血糖値より高い値を示します。
- イコデキストリンを含む透析液を使用した場合、実際の血糖値より高い値を示すことがあります。

もくじ

■もくじ …… 2

■はじめに …… 4

・ニプロフリースタイル フリーダム血糖測定システムの特徴 …… 6
・表記記号の意味 …… 7
・使用上の注意 …… 8

■測定前の準備 …… 12

・ニプロフリースタイル フリーダムの構成 …… 12
・ニプロフリースタイルメーター フリーダムの各部名称および特長 …… 14
・ニプロフリースタイルセンサーの各部名称と取り扱い上の注意 …… 16
・ニプロフリースタイルライトショットの各部名称と取り扱い上の注意 …… 18
・ニプロランセットの各部名称と取り扱い上の注意 …… 20

■血糖測定開始 …… 22

①ニプロフリースタイルライトショットの準備 …… 22
②ニプロフリースタイルセンサーの開封 …… 25
③ニプロフリースタイルセンサーの装着 …… 26
④コード番号の確認 …… 27
・コード番号の合わせ方 …… 28
⑤穿刺および採血 …… 29
・採血可能箇所 …… 29
⑥測定 …… 32
・結果表示 …… 33
⑦ニプロフリースタイルメーター フリーダムおよびセンサーの測定範囲 …… 34
⑧測定後の処分および測定機器の手入れ方法 …… 35

■データ管理 …… 36

①記録データの表示 …… 36
②記録データの消去 …… 37

■ニプロフリースタイルメーター フリーダムの環境設定 …… 38

・モニター表示画面の意味 …… 38
・ブザー音量の調整 …… 40
・時刻の設定 …… 41
・時刻表示タイプの設定 …… 42
・月・日・年設定 …… 43
・日付け表示タイプの設定 …… 44
・その他の表示 …… 45

■その他の機能 …… 46

・お知らせアラームの設定 …… 46

■グルコースコントロール液による動作のチェック …… 50

・ニプログルコースコントロール液を用いた動作チェック …… 50
・測定値のチェックの手順 …… 51

■トラブルの対処 …… 56

■電池交換の仕方 …… 60

■仕様 …… 62

■保証 …… 63

はじめに

　このたびは、ニプロフリースタイルメーター　フリーダムをご使用いただき、まことにありがとうございます。
　ニプロフリースタイルメーター フリーダムは、糖尿病の方や、医療関係者にわかりやすく扱いやすい血糖測定器として設計、製造されております。
　この取扱説明書には、血糖測定をするための正しい操作方法や大切な情報が記載されています。お使いになる際は、必ず本書をよくお読みになり、正しく理解したうえでご使用ください。
　あわせて、血糖測定の際に必要となります「ニプロフリースタイルセンサー」「ニプロフリースタイルライトショット」の添付文書、取扱説明書もお読みになり、それらの注意事項をお守りください。

はじめに

ニプロフリースタイル フリーダム血糖測定システムの特徴

　血液中のグルコース濃度（血糖値）を適正に保つことは、糖尿病特有の合併症（糖尿病性網膜症、糖尿病性腎症、糖尿病性神経障害等）への進行リスクを低下させることができると言われています。当社では、家庭や職場を含めた幅広い生活・療養所で糖尿病患者さん自身によって行われる血糖の測定に使用される「フリースタイル血糖モニタリングシステム」を提案しています。

　ニプロはより少量の血液で高精度な血糖測定を目指し、0.3マイクロリッター（μL）にて血糖測定が行なえるシステムを発売しました。

　本システムは小型血糖測定器「ニプロフリースタイルメーター　フリーダム」に専用電極として「ニプロフリースタイルセンサー」をセットし、センサーに少量の血液を接触させるだけで自動的に結果表示を行います。また約5秒と短時間測定を実現しました。

表記記号の意味

以下の記号が表記されている項目は、重要項目ですので必ずお守りください。

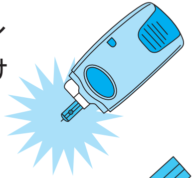
危険　誤った扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が想定されることを示しています。

警告　誤った扱いをすると、重度または軽度のけがや、物的損傷を負う危険が想定されることを示しています。

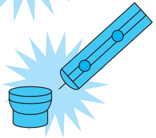
注意　誤った扱いをすると、物的損傷や血糖測定の不具合を負う危険が想定されることを示しています。

使用上の注意

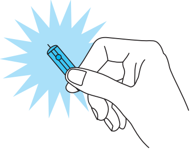
危険 ニプロフリースタイルライトショットは、他人に向けて使用しないでください。



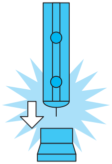
危険 保護キャップの外れたランセット（穿刺針）は使用しないでください。



危険 ニプロランセットは、他の人の手に触れることのないよう厳重に管理、保管してください。



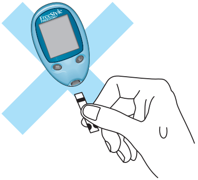
危険 使用後のニプロランセットは保護キャップをかぶせ、医療機関等の指示に従って処理してください。



危険 血糖測定後のセンサーは、医療機関等の指示に従って処理してください。

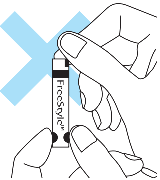
危険 血糖測定に使用する全ての製品は、小児の手の届かない所に保管してください。

危険 体調の不良を感じている場合は、操作を誤る可能性がありますので、本機に熟知した代わりの方に測定してもらうようにしてください。



警告 血糖測定に使用する全ての製品は、濡れた手や汗ばんだ手での取り扱い操作はしないでください。

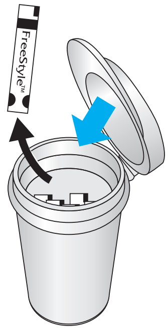
注意 センサーの電極部、血液吸入部にはなるべく触れないでください。測定結果に異常が生ずる恐れがあります。



使用上の注意

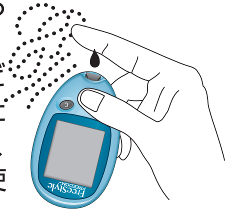
注意

容器から、使用するセンサーを取り出したら、キャップをしっかりと閉めてください。
キャップを開けたままにしますとセンサーが湿気を吸い、正しい測定ができなくなります。



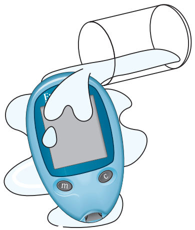
注意

センサー挿入口には、ほこり、血液、水分などが入らないようにしてください。
測定器に付いた汚れなどは、水で濡らした布をかたくしぼって拭き取ってください。消毒液などは使用しないでください。



注意

水気のある場所では使用しないでください。水に濡れ、内部に水分が入ると測定器の故障の原因となります。

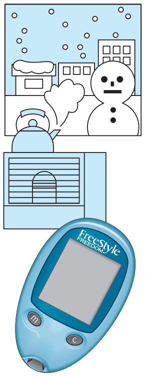


注意

直射日光の当たる屋外、窓際に置かないでください。測定の異常が生じたり、測定器が変形するおそれがあります。

注意

測定器は温度変化の激しい所での使用は避けてください。(温度チェックのマークが表示されている場合には、適正な測定結果が得られない場合があります。)室温に十分なじませてからご使用ください。
また血糖測定の際や、保管する場合は高温・多湿の場所を避けてください。



はじめに

測定前の準備

構成

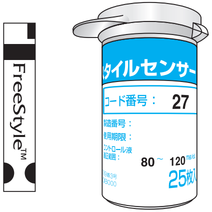
- ●ニプロフリースタイルメーター フリーダム（測定器）
- ●リチウム電池 CR2032×1個（セット済）

- ●取扱説明書

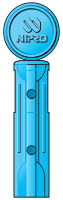
測定前の準備

測定に必要なもの（別売）

- ●ニプロフリースタイルライトショット（穿刺器具）
- ●ニプロフリースタイルセンサー



- ●ニプロランセット（穿刺針）
- ●ニプログルコースコントロール液



※グルコースコントロール液の購入については、
ニプロ ☎0120-834-226 に
お問い合わせください。

ニプロフリースタイルメーター フリーダムの 各部名称および特長

正面

表示モニター
250回分の測定結果が記録できます。測定日時も同時に記録されるので、データー管理時に便利です。

操作ボタン
コード番号変更、設定変更時に使用します。

センサー挿入部
挿入しやすい段差を設けた構造になっています。また、挿入部に向かって絞り込まれた形状なので腕からの採血時にメーター自体がじゃまになることがありません。

背面

電池収納部
リチウム電池CR2032×1個がセットされています。約1000回分の血糖測定ができます。

ニプロフリースタイルセンサーの各部名称と取り扱い上の注意

■各部名称

電極部

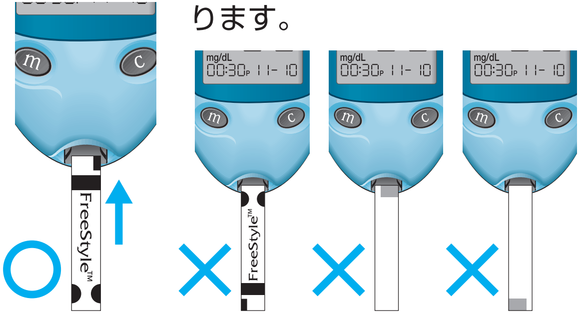
ニプロフリースタイルメーター　フリーダム
挿入部

ニプロフリースタイルセンサーは極少量の血液0.3マイクロリッター（μL）で血糖測定が可能です。

0.3μL
（血液玉直径約1.0㎜）

■取り扱い上の注意

注意　センサーは下図左側のように正しい向きでしっかりと挿入してください。
挿入すると自動的に電源が入ります。



注意　センサーを折り曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。

注意　センサーの電極部、血液吸入部にはなるべく触れないでください。正確な測定結果が得られません。

ご使用に際しては、ニプロフリースタイルセンサーの添付文書をよくお読みください。

測定前の準備

ニプロフリースタイルライトショット(穿刺器具)の各部名称と取り扱い上の注意

■各部名称

危険 ニプロフリースタイルライトショットの共用は感染のおそれがありますのでさけてください。

■取り扱い上の注意

調節ダイヤルで穿刺の深さを調節します。

1	浅い
2	↓
3	普通
4	↓
5	深い

表示される数字を目安に穿刺の深さを調節してください。

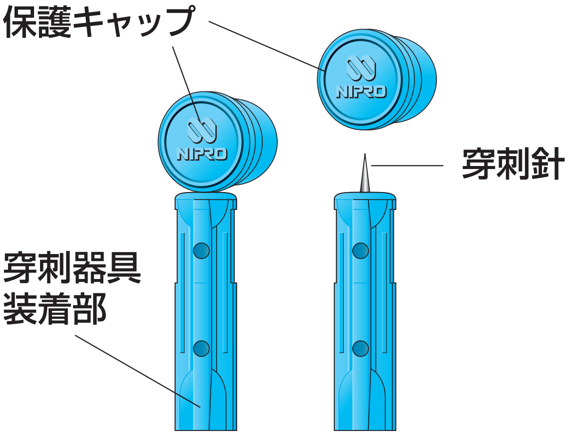
初めてお使いになるとき、調節ダイヤルを回して穿刺深さを低い数値から試してみて、適正数値を使用するようにしてください。指以外は透明キャップ、指先は青色のキャップを使用してください。

危険 ランセット(穿刺針)を装着したニプロフリースタイルライトショットは、他人に向けて使用しないでください。

ご使用に際しては、ニプロフリースタイルライトショットに添付されている取扱説明書をよくお読みください。

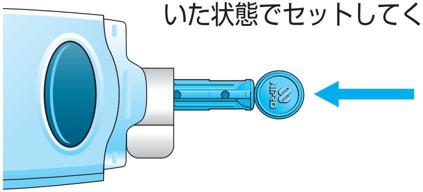
ニプロランセットの
各部名称と取り扱い上の注意

■各部名称



■取り扱い上の注意

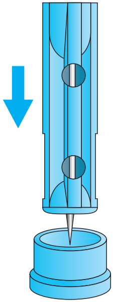
ニプロフリースタイルライトショットに装着する際は必ず保護キャップが付いた状態でセットしてください。



危険 ランセットは1回限りの使用です。再使用はできません。

危険 保護キャップの外れたランセットは使用しないでください。

危険 使用後のランセットは針の部分に保護キャップをかぶせ、医療機関等に相談して処理してください。



危険 ニプロランセットは、他人の手に触れることのないよう厳重に管理、保管してください。

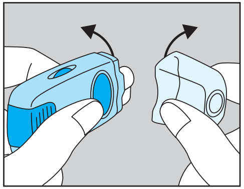
血糖測定
開始

血糖の測定を開始します。
本書12.13ページ記載の測定機器一式が揃っているか確認してください。

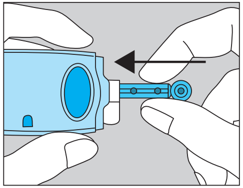
注意 指先からの採血とそれ以外の部位（前腕部、上腕部等）からの採血を行った場合、測定値に違いが認められる場合があります。特に食後、インスリン注射後、運動後といった急激に血糖値が変動する場合に測定値の違いが認められます。測定に際しては、採血部位をよくマッサージすることで、採血部位による測定値の相違を少なくしてください。
なお、低血糖症状が現れる方、もしくは低血糖が疑われる方は指先または手のひらからの採血を推奨します。

1 ニプロフリースタイルライトショットの準備

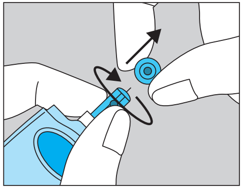
1)穿刺キャップを折るようにして外します。



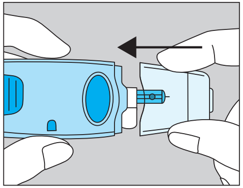
2)ニプロランセット(穿刺針)を装着します。
※ライトショットに装着する際は必ず保護キャップが付いた状態でセットしてください。



3)保護キャップをねじって取り外します。
※保護キャップは、廃棄の際に必要となりますので捨てないでください。



4) 穿刺キャップをしっかりセットしてください。



注意 指先への穿刺の場合、指用（青色）キャップを、それ以外の部位には指以外用(透明)を使用してください。

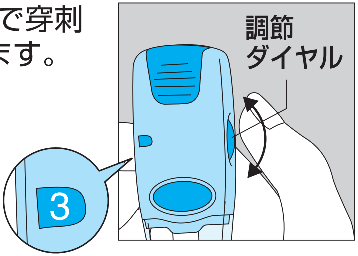
危険 装着前に保護キャップが外れていたランセットは使用しないでください。

血糖測定

血糖測定開始

5) 調節ダイヤルで穿刺の深さを調節します。

表示される数字を目安に穿刺の深さを調節してください。

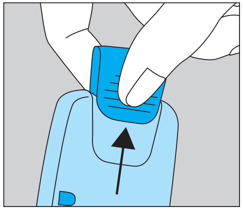


1	浅い
2	↓
3	普通
4	↓
5	深い

初めてお使いになるとき、調節ダイヤルを回して穿刺深さを低い数値から試してみて、適正数値を使用するようにしてください。
指以外は透明キャップ、指先は青色のキャップを使用してください。

6)コックハンドルを引き上げます。

穿刺の準備は完了です。



危険 穿刺準備完了となったニプロフリースタイルライトショットは、他人に触れさせないようにしてください。

❷ ニプロフリースタイルセンサーの開封

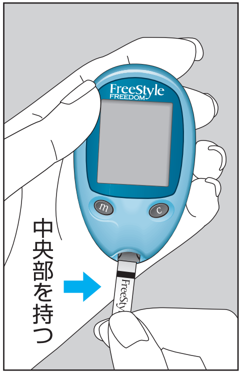
ニプロフリースタイルセンサーの箱を開封し、容器を取り出します。

容器のキャップを外し、センサーを1枚取り出してください。

注意 センサーは湿気厳禁です。キャップは必ずしっかりと閉めてください。

③ ニプロフリースタイルセンサーの装着

フリースタイルメーター フリーダムにセンサーを正しい方向に挿入します。

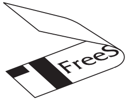


センサーを挿入すると自動的に電源が入ります。

注意 センサーの電極部、血液吸入部にはなるべく触れないでください。

注意 センサーは中央部を持って、しっかりと挿入してください。

注意 センサーを折り曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。

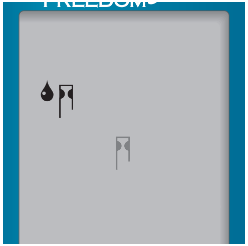


④ コード番号の確認

画面に表示されたコード番号と、センサー容器のラベルに印字されているコード番号に合わせてください。

右の「採血マーク（💧）（ ）」が画面に表示されたら、測定準備の完了となります。

※2分間操作が行われない場合は自動的に電源が切れます。



電源が切れていれば、
一度センサーを抜き、再び挿入してください。

※コード番号が一致していない場合は、次ページの「コード番号の合わせ方」を参照し、必ず合わせてください。

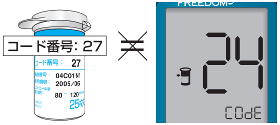
注意 コード番号が合っていないまま測定を行うと正確な測定値が得られません。

血糖測定
開始

コード番号の合わせ方

コード番号は以下のときに合わせることができます。
1.メーターにセンサーをセットした直後
2.測定準備が完了し(💧)(▮)マークが表示されている状態で、操作ボタン(C)を1回押したとき

画面表示のコード番号と、センサー容器ラベル表記のコード番号が一致していない場合は以下の操作を行い、番号を合わせてください。



上記を例としてコード番号の合わせ方の説明をします。

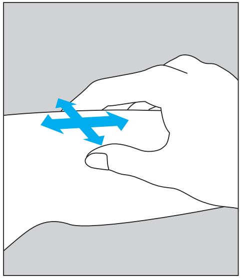
上記のように、センサーのラベルに記載されたコード番号より小さい数字が画面に表示された場合は、操作ボタン(C)を押します。1回押すごとに1つ数字が上がりますので、この場合は3回押して27を表示させます。
数字を下げる場合は操作ボタン(m)を押して同様の操作を行います。

コード番号を合わせますと、数秒後に(💧)(▮)マーク画面になります。

※本書で表示しているコード番号、測定値は説明のためのもので、実際に表示される数値ではありません。

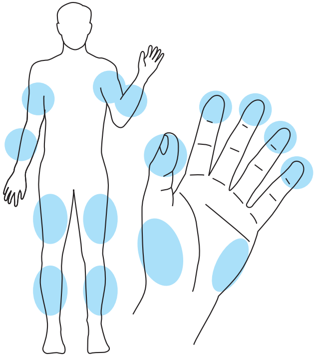
⑤ 穿刺および採血

1)血糖測定のために採血部位をよくマッサージした後、消毒綿等を用いて清潔にし完全に乾かしてください。



採血可能箇所

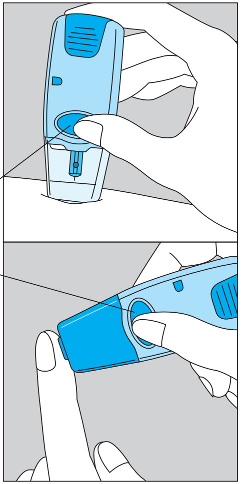
・前腕、上腕
・手、指先
・太ももやふくらはぎ等が採血可能な箇所です。



注意
・ほくろ
・静脈
・背
・腱
には穿刺しないでください。

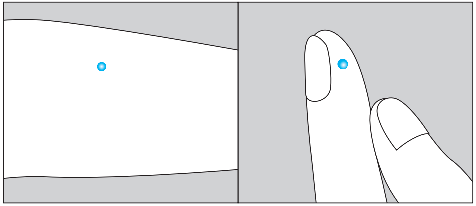
血糖測定
開始

2）22ページで準備しておいたニプロライトショットを前腕または指先に軽く押しあて、リリースボタンを親指で押します。



指以外の部位では、穿刺後すぐにニプロライトショットを離さず、測定に適した血液量が得られるまで採血部位を徐々に強く押すようにしてください。

3）測定に必要な量の血液が採血できたか確認してください。



0.3マイクロリッター（μL）の目安
（血液玉の直径約1.0㎜）

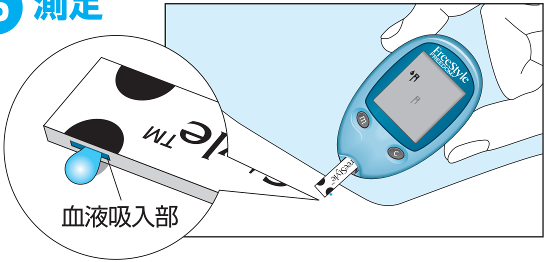
あなたが採血した血液量と比べてみてください。

必要量が採血できなかった場合は、以下の方法を用い、再び穿刺を行ってください。

①使用前に採血する部位をよくマッサージしたり、こすったりして血行を促す。
②ニプロフリースタイルライトショットの穿刺レベルを深めに調節する。

注意 再度穿刺する場合は、穿刺箇所をかえて行ってください。

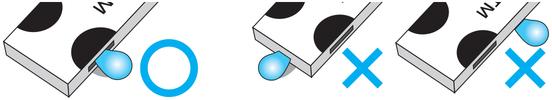
❻ 測定



採血された血液を、センサーの血液吸入部より吸入させます。その際、血液吸入部を皮膚に押しつけず、ゆっくり血液玉に接触させてください。「ピー」と音がしたら、吸入完了です。「ピー音」が完全に消えるまで持ち上げないでください。

※5秒たっても音がしない場合は、再度吸入させてください。但し60秒以内に行ってください。

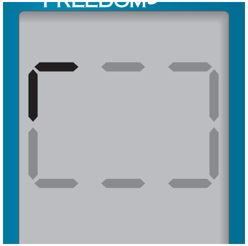
血液は必ず血液吸入部に吸入させてください。



注意 血液吸入部のどちら側に吸入させてもかまいませんが、両方には吸入させないでください。

結果表示

血液吸入が完了すると、右の画面（四角の破線が流れるように点滅）が表示されます。これはメーターが血糖値の測定をしていることを意味します。



「ピー、ピー」と音がすると、測定結果が画面に表示されます（約5秒後）。

測定結果はメーターのメモリーに自動に記録されますが、血糖値管理表等にも記録しておいてください。

注意 測定終了後、センサーを抜き取りますと自動的に電源が切れます。

注意 センサーは1回限りの使用です。再使用はできません。

血糖測定
測定範囲および終了後の処理

7 ニプロフリースタイルメーター フリーダムおよびセンサーの測定範囲

ニプロフリースタイルメーター　フリーダムおよびセンサーの血糖値の測定範囲は20mg/dL～500mg/dLです。

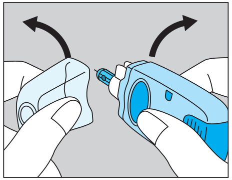
メーターは血糖値が20mg/dL未満の場合は「LO」を、500mg/dLを越える場合は「HI」を表示します。

この表示が出た場合は、測定ミス、または機器等の異常か症状の悪化が考えられます。直ちに再測定してください。

危険 何度再測定をしても上記の結果が出る場合は、直ちにかかりつけの医師に相談してください。

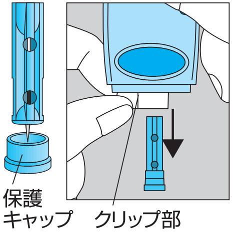
8 測定後の処分および測定機器の手入れ方法

ランセットの処分



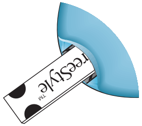
- 使用後、穿刺キャップを外す際はニプロライトショットと穿刺キャップを持ち、外側に向けて折るようにして外してください。
- 使用後のランセットは先に保護キャップをかぶせてから取り外し、医療機関等に相談して処理してください。

※ ニプロフリースタイルライトショットに装着されているランセットはクリップ部を強くつまむと、簡単に外すことができます。



フリースタイルセンサーの処分

使用後のセンサーは医療機関等に相談して処理してください。



ニプロフリースタイルライトショット、ニプロフリースタイルメーター フリーダムのお手入れは、

硬くしぼった布などで拭いてください。シンナー、消毒液などで拭いた場合、変形や必要な表示が消えたりしますので、絶対に使用しないでください。

1 記録データの表示

フリースタイルメーター フリーダムは、過去2週間（14日間の測定分）の測定記録の平均値を自動的に計算し表示します。

表示方法
センサーが挿入されていない状態で、操作ボタン（m）を1回押すと平均値が表示されます。

※14日間の測定回数を意味します。

平均値を表示した状態で操作ボタン（c）を1回押すと、最新の測定データを表示します。
さらに押すごとに過去のデータならびに測定日時を新しい順で表示していきます。

※操作ボタン（m）を1回押すか、あるいは2分間放置すると電源が切れます。

コントロール液チェックデータ値の表示

左記の過去データ表示方法と同じです。
コントロール液（）が表示されている値が動作チェックのデータです。

2 記録データの消去

ニプロフリースタイルメーター フリーダムは、コントロール液のチェックデータ値と、血糖測定値のデータを合わせて、250テスト分記憶します。それ以上は、古いデータから順に自動的に消去され、新しいデータが上書きされていきます。

過去のデータが必要となる場合もありますので、測定時は、その都度血糖値管理表等による記録も行ってください。

モニター表示
画面の意味

温度

温度警告5～40℃を外れた時の温度チェックのマークです。

音量マーク

音量の選択をする際のマークです。

採血マーク

測定が可能のマークです。

コード番号マーク

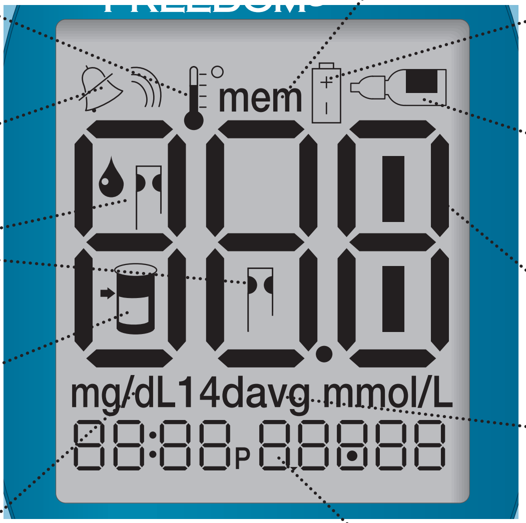
センサーを挿入した際、コード番号の数値と同時に表示されます。

単位

測 定 数 値 の 表 示 と 同 時 に mg/dLの表示が出ます。

メモリー

過去に測定したデー タを確認する際に表示されま す。



電池残量警告

電池残量のマークです。電池交換が必要な場合に表示されます。

チェックマーク

コントロール液の測定結果として表示されます。

測定数値

測定値が表示されます。

平均値

表示された数値が平均値であることを意味します。

各種メッセージ

測定などの日付け･時間等､各種メッセージが表示されます。

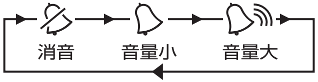
■ブザー音量の調整

操作確認の際の「ピー」音の音量設定ができます。

❶ （m）ボタンを3秒以上長押しすると左の画面になります。（0）が点滅しているときに（m）ボタンを押すと環境設定に入ります。

※1.2.3.4はお知らせブザー設定となります。（その他の機能参照）

❷ 操作ボタン（C）を1回押すごとに、「（消音）」、「（音量小）」、「（音量大）」の順で音量マークが切り替ります。設定したいマークを表示させます。



注意　血糖測定を確実なものとするためにブザー音は鳴らすように設定してください。

■時刻の設定

測定を行った時刻が記録できます。

ブザー音設定後、操作ボタン（m）を1回押しますと左図のような画面が表示され、時間の数字が点滅します。操作ボタン（C）を1回ごと押すと、数値が1つずつ上がり、押し続けると早送りで表示できます。現在の時間に合わせたら、再び操作ボタン（m）を押します。

分の数字が点滅します。前項と同様に操作ボタン（C）を押し、現在の分に合わせます。

■時刻表示タイプの設定

12時間表示か24時間表示かを選択します。

時刻の設定後、操作ボタン(m)を1回押しますと時刻のタイプが表示されます。

操作ボタン(C)を1回押すごとに、12時間、24時間が交互に表示されます。
(12時間表示を設定した場合、時刻数値下にPMのみ表示されます。)

■月・日・年の設定

測定を行った年月日が記録できます。

月

再び操作ボタン(m)を1回押しますと左図のような、月・日・年(西暦)の画面が表示されます。

日

前項と同様に操作ボタン(C)を押して、現在の月・日・年を順に設定します。

年

環境設定

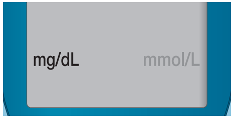
ニプロフリースタイルメーター　フリーダム
環境設定

■日付け表示タイプの設定

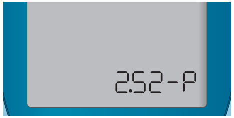
月・日・年の設定後、操作ボタン（m）を1回押しますと日付け表示のタイプが表示されます。

操作ボタン（C）を1回押すごとに、月日年順（m-d）と日月年順（d-m）が交互に表示されます。好みの表示タイプを設定してください。

■その他の表示



前項設定後、操作ボタン（m）を1回押しますと単位（mg/dL）が表示されます。



操作ボタン（m）を押すと設定初期画面に戻ります。

測定終了時は、操作ボタン（m）を数秒間押し続けてください。画面が消えます。

■お知らせアラームの設定

ブザー音量が低（　）または高（　）にセットされていればお知らせアラームが設定されます。ブザー音量がオフ（　）ならお知らせアラームはオフになります。お知らせアラームは4パターン設定が可能です。

❶ 操作ボタン(m)を3秒以上長押しし、SETの画面を表示させます。

SETの下に、1.2.3.4が表示されますが、1から4がアラーム設定の番号です。（c）ボタンを押し、1から4のいずれかの番号を点滅させます。

注意　0が点滅している時に(m)ボタンを押すと、環境設定画面となります。

❷ （m）ボタンを押して時刻設定に移ります。

❸ 時が点滅している時に（c）ボタンを押して適切な時(分)を表示させます。時選択

❹ （m）ボタンを押して分設定に移ります。分選択

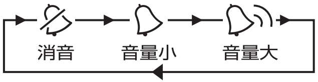
❺ 時（分）が点滅している時に（c）ボタンを押して適切な時（分）を表示させます。

環境設定

環境設定

6

(m)ボタンを押してアラーム音量設定に移ります。消音設定はオフです。アイコンの一つが表示されている状態で（c）ボタンを押して所定のアラーム音量を表示します。



7

（m）ボタンを押してSETの画面に戻ります。

8

必要に応じてステップ1～7を繰り返して他のアラームをセットします。（1.2.3.4の4種類の時刻までセットできます）

測定終了後は、操作ボタン（m）を3秒間押し続けてください。画面が消えてSET表示がなくなります。

グルコースコントロール液による
動作のチェック

ニプログルコースコントロール液を用いた動作チェック

グルコースコントロール液は、ニプロフリースタイルメーターフリーダムとニプロフリースタイルセンサーが正常に作動しているかどうかをチェックするためのものです。

動作チェックは血糖測定のたびに行う必要はありません。以下のような場合に行ってください。

- ニプロフリースタイルメーター フリーダムを落としたり、ぶつけたりしたとき。
- 測定値がおかしいと感じたとき。
  例えば、予想した血糖値よりもいちじるしく低すぎたり高すぎたりしたとき。

注意 使用期限の過ぎたグルコースコントロール液は使用しないでください。

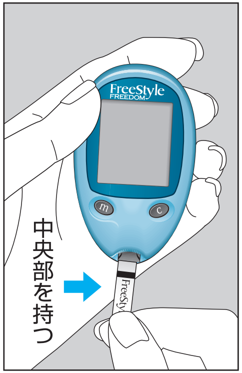
※グルコースコントロール液は別売です。

測定値のチェックの手順

1 ニプロフリースタイルセンサーの箱を開封し容器を取り出します。
容器のキャップを取り外し、センサーを1枚取り出してください。

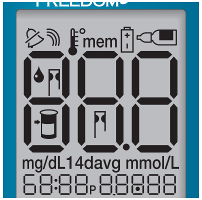
注意 センサーは湿気厳禁です。キャップは必ずしっかりと閉めてください。

2 フリースタイルメーター フリーダムにセンサーを挿入します。
センサーは電極部、血液吸入部になるべく触れないよう、中央部分を持ってください。挿入方向を確認してからしっかりと挿入します。



グルコースコントロール液による動作のチェック

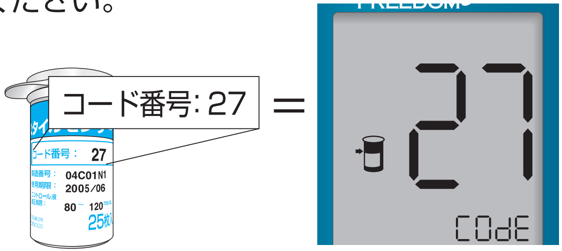
3 センサーが挿入されますと自動的に電源が入り、以下の画面が順次表示されていきます。



基本画面

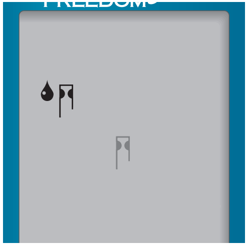
コード番号

4 画面に表示されたコード番号と、センサー容器のラベルに印字されているコード番号が一致していることを確認してください。



※ コード番号が一致していない場合は、28ページの「コード番号の合わせ方」を参照し、操作してください。

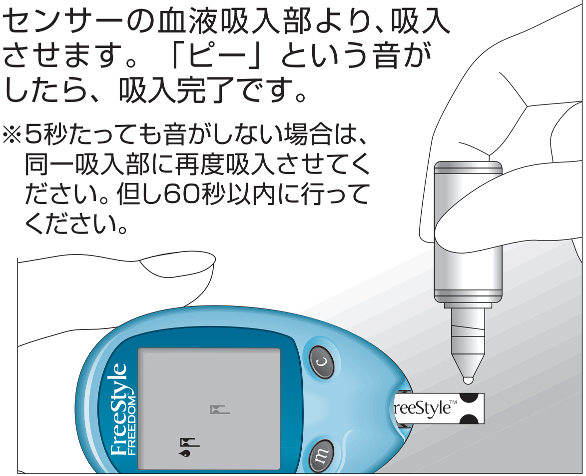
5 右の画面が表示されましたら、測定準備の完了です。



※2分間操作が行われない場合は自動的に電源が切れます。その際は再度センサーを挿入しなおしてください。

6 ニプログルコースコントロール液のキャップをはずします。容器先端に少量のコントロール液を押出し、センサーの血液吸入部より、吸入させます。「ピー」という音がしたら、吸入完了です。

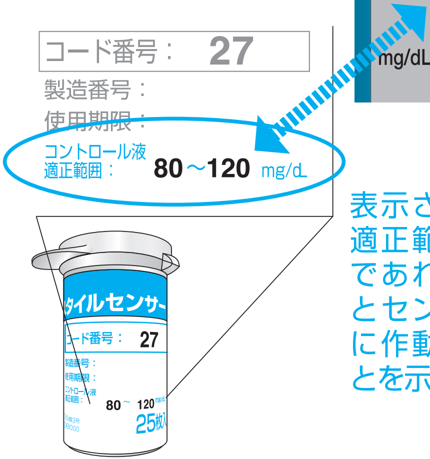
※5秒たっても音がしない場合は、同一吸入部に再度吸入させてください。但し60秒以内に行ってください。



動作のチェック

グルコースコントロール液による動作のチェック

7 表示された数値が、使用したセンサー容器のラベルに印字されている「コントロール液適正範囲」内の数値であるかどうか確認してください。



表示された数値が適正範囲内の数値であればメーターとセンサーは正常に作動していることを示しています。

※適正範囲外の数値が表示された場合は、ニプログルコースコントロール液の説明書を参照し、再度測定してください。

8 測定結果をコントロール液のデータとしてメーターに記録させせます。

測定結果が表示されている間に、メーターの操作ボタン(C)を2秒間押し続けます。

画面に( )マークが表示されると、コントロール液の測定結果として記録されます。

9 正常作動の確認、コントロール液のデータが記録できましたら、メーターからセンサーを抜き取り捨ててください。

トラブルの対処

エラーメッセージ

適正な取り扱いをしなかった場合など、以下のようなエラー画面が表示されることがあります。その際は次項を参照し、適切な対応を行ってください。

エラー1

考えられる原因

1. 十分な血液が採取されていない
2. 測定センサーに問題がある
3. メーターに問題がある
4. 血糖値が非常に低い（20mg/dL未満）

エラー2

考えられる原因

1. 測定センサーに問題がある
2. メーターに問題がある
3. 血糖値が非常に高い（500mg/dLを越える場合）

エラー3

考えられる原因

1. 測定センサーをメーターに挿入する前に血液を吸い込ませてしまったなどの誤った手順
2. 測定済のセンサーを使用した
3. 測定センサーに問題がある
4. メーターに問題がある

エラー4

考えられる原因

1. 測定センサーに問題がある
2. メーターに問題がある

※エラー5の表示はありません。

エラー6

考えられる原因

コード番号を変更してしまった。

（対処法は次ページをご参照ください。）

トラブル対処法

前項のいずれかのエラーメッセージが表示されたときは、以下の方法で対処してください。

1. 新しいセンサーを使って再測定してください。
   再測定ができましたら問題はありません。

2. 新しいセンサーでコントロール液を使い、テストしてください。
   正常な動作が確認された場合には、再度新しいセンサーを使って測定してください。
   （グルコースコントロール液による動作のチェックを参照ください。）

トラブルの対処

左記対処を施しても「Er」表示が消えない場合、医療機関等または、製品に関するお問い合わせ先までご連絡ください。

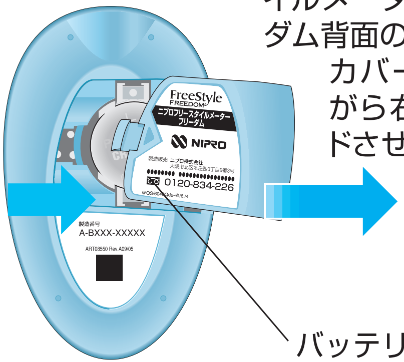
製品に関するお問い合わせ先
ニプロ株式会社
0120-834-226
9:00 ～17:30（土･日･祝祭日をのぞく）

トラブルの対処

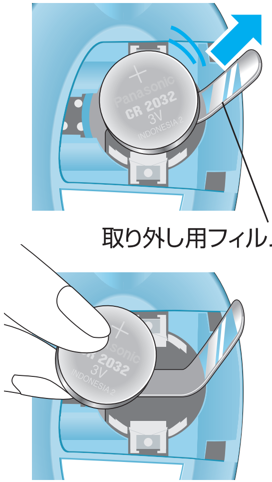
電池交換の仕方

電池残量が少なくなると、モニター画面に（− +）が表示されます。
表示されましたら早めに電池を交換してください。

①ニプロフリースタイルメーター　フリーダム背面のバッテリーカバーを押しながら右へスライドさせます。



バッテリーカバー

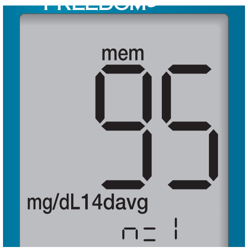


取り外し用フィルム

②取り外し用のフィルムを持ち上げて、電池を取り外します。

③交換用電池を（+）、（−）の向きを間違えないようにセットします。

④電池交換後はバッテリーカバーをもとに戻します。



操作ボタン（m）を1回押して測定データが表示されるかチェックしてください。

問題がなければ操作ボタン（m）を1回押して電源を切ります。

電池交換は完了です。

仕様

測定試料：　全血　0.3μL

測定範囲：　20～500mg/dL

測定時間：　約5秒

※血糖値により測定時間が前後する
場合があります。

電源：　リチウム電池　CR2032×1個

電池寿命：　約1000回

使用環境：　温度／5～40℃
湿度／5～90%

自動シャットダウン機能：　2分後に自動的に電源が切れます。

メモリ機能：　250回分の測定値を保存

外形寸法：　巾51㎜×高さ84㎜×厚さ17㎜

重量：　約40g（電池を含む）

データインターフェイスが必要な場合はニプロにお問い合わせください。

0120-834-226

仕様

保証

保証期間 3 年

ニプロフリースタイルメーター　フリーダムの保証期間は、ご購入から3年間です。保証期間内に故障した場合は無料で交換いたします。

**以下に該当する場合は
保証の対象外となります。**

- ●取扱説明書に準じた適正な使用を行わなかった場合。
- ●保証期限が切れている場合。
- ●当社以外での修理・調整・改造が行われている場合。

保証

MEMO